

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-021558

(43)Date of publication of application : 24.01.1989

(51)Int.Cl. G06F 13/00
G06F 15/00

(21)Application number : 62-177687

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 15.07.1987

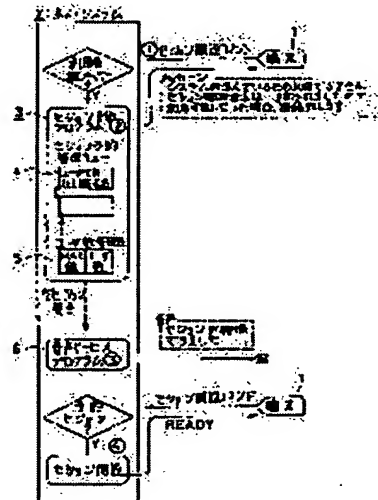
(72)Inventor : MATACHI KICHISABUROU

(54) SESSION OPENING SYSTEM BASED UPON RESERVATION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To guarantee the uniformity of service and to remove labor for repeatedly sending a session opening command by reserving sessions when the number of users is over, and at the time of generation an idle session, informing the state to open the session.

CONSTITUTION: A host system 2 receiving the information of a session opening command from a terminal 1 refers a user number management table 5, and when no idle session exists, reserves the information in a session reservation managing queue 4, and when an idle session is generated, informs a message indicating the generation of the idle session to the oldest terminal 1 in the queue 4 to open the session. Consequently, the uniformity of service for users can be guaranteed and complexity for repeatedly sending session opening commands can be removed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-21558

⑬ Int. Cl.⁴

G 06 F 13/00
15/00

識別記号

3 5 2

庁内整理番号

7218-5B
7361-5B

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 予約制によるセッション開設方式

⑯ 特 願 昭62-177687

⑰ 出 願 昭62(1987)7月15日

⑱ 発 明 者 又 地 吉 三 郎 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳ 代 理 人 弁理士 井 祐 貞一

明 細 書

1. 発明の名称

予約制によるセッション開設方式

2. 特許請求の範囲

セッションの開設を予約制にするセッション開設方式において、

セッション開設数を管理するユーザ数管理表①と、セッションが開設できない場合に、予約した順序を管理するセッション予約管理キュー④とを備え、端末から通知されたセッション開設コマンドに対して、上記ユーザ数管理表①を参照して空セッションがないと判別された場合、上記セッション予約管理キュー④に予約すると共に予約した旨のメッセージを該当端末に通知し、一方、上記ユーザ数管理表①を参照して空セッションが発生した場合に上記セッション予約管理キュー④のうちの一番古い端末に対して空セッションが発生した旨を通知してセッションを開設するように構成したことを特徴とす

る予約制によるセッション開設方式。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

利用者に対するホストシステムのサービスを予約制にするセッション開設方式に関し、

利用者に対するホストシステムのサービスの均等性の保証および繰り返しセッション開設コマンドを送出する煩雑性を解消することを目的とし、

セッション開設数を管理するユーザ数管理表と、セッションが開設できない場合に、予約した順序を管理するセッション予約管理キューとを備え、端末から通知されたセッション開設コマンドに対して、上記ユーザ数管理表を参照して空セッションがないと判別された場合、上記セッション予約管理キューに予約すると共に予約した旨のメッセージを該当端末に通知し、一方、上記ユーザ数管理表を参照して空セッションが発生した場合に上記セッション予約管理キューのうちの一番古い端末に対して空セッションが発生した旨を通知してセッションを開設す

るように構成する。

〔産業上の利用分野〕

本発明は、利用者に対するホストシステムのサービスを予約制にするセッション開設方式に関するものである。

〔従来の技術〕

従来は、第2図に示すように、ホストシステム12が混んでいる状態で、端末11からセッション開設コマンドが通知された場合、ホストシステム12は、セッションを開設できない旨のメッセージを端末11に表示してセッション開設を拒否している。

〔発明が解決しようとする問題点〕

このため、利用者は、セッションが開設できるまで、何度も繰り返してセッション開設コマンドをホストシステム12に対して送出しなければならぬという問題点があった。また、再度セッション開

3

セッション予約管理キュー4は、セッションに空きがない場合に、セッション開設要求のあった端末を予約しておくものである。

ユーザ数管理表5は、セッションの空き状態を管理するものである。

〔作用〕

本発明は、端末1からのセッション開設コマンドの通知を受けたホストシステム2が、ユーザ数管理表5を参照して空セッションがない場合にセッション予約管理キュー4に予約しておき、空きが生じた場合にセッション予約管理キュー4のうちの一番古い端末1に対して空きが生じた旨のメッセージを通知してセッションを開設するようにしている。

このため、利用者に対するサービスの均等性を保証することが可能となると共に、繰り返しセッション開設コマンドを送出する煩雑性を解消することが可能となる。

5

設コマンドをホストシステム12に送出するタイミングによって運の良い利用者はすぐにセッションが開設でき、運の悪い利用者はずっと待たされるという、利用者に対するサービスの不均等が生じてしまうという問題点があった。

本発明は、利用者に対するホストシステムのサービスの均等性の保証および繰り返しセッション開設コマンドを送出する煩雑性を解消することを目的としている。

〔問題点を解決するための手段〕

第1図を参照して問題点を解決するための手段を説明する。

第1図において、端末1は、利用者がホストシステム2に対してサービスを要求するためのものである。

ホストシステム2は、利用者に対してサービスを提供するものである。

セッション予約プログラム3は、セッションの予約に関する処理を行うものである。

4

〔実施例〕

次に第1図を用いて本発明の1実施例の構成および動作を詳細に説明する。

第1図において、端末1は、利用者がホストシステム2に対してサービスを要求するためのものである。

ホストシステム2は、3ないし5などから構成され、利用者に対してサービスを提供するものである。

セッション予約プログラム3は、端末1から通知されたセッション開設コマンドに対応して、セッションに空きがない場合に予約すると共に、空きが生じた場合にその旨を通知などするものである。

セッション予約管理キュー4は、セッションに空きがない場合に、セッション開設要求のあった端末1の順番を管理（予約管理）するものである。

ユーザ数管理表5は、セッション開設数に空きがあるか否かを管理するものである。図中MAX値は、開設し得る最大のセッション数を表し、ユーザ数が現在セッションを開設しているユーザ（利用

6

者) 数を表す。従って、ユーザ数がMAX値よりも小さい時にはセッションに空きがあることが判明する。等しい場合には、空きがないことが判明する。

音声サービスプログラム6は、セッションに空きが生じた場合に、該当する端末1に対して音声で通知するものである。

次に、動作を説明する。

第1図において、利用者が端末1から図中④セッション開設コマンドをホストシステム2に通知してセッションの開設を要求する。このセッション開設コマンドの通知に対応して、ホストシステム2は、ユーザ管理表5を参照して利用者数がオーバーしていることが判明(混んでいることが判明)した場合、この要求をセッション予約プログラム3に渡す。一方、利用者数がオーバーでない場合には、セッションを開設して利用者は端末1を介してホストシステム2からサービスの提供を受ける。

利用者数がオーバーしていることが判明し、セッション予約プログラム3に渡された場合には、セ

7

に対するものか否かチェックし、予約したものの場合にはセッションを開設する(図中④)。尚、メッセージを通知して、端末から再度セッション開設コマンドを送出するのではなくて、セッション予約プログラム3が特定の端末に対して自動的にセッションを開設するようにしてもよい。

以上のように、セッション開設要求に対応して利用者数がオーバーの場合に、セッション予約管理キュー4にキューイングし、その後、ユーザ数管理表5を参照して空セッションが生じた場合に、予約した一番古い利用者に対してセッションの確保ができた旨を連絡してセッション開設を行うことにより、利用者に対するサービスの均等性を保証することが可能となると共に、繰り返しセッション開設コマンドを送出する煩雑性を解消することが可能となる。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、利用者数がオーバーの場合に予約しておき、空セッション

セッション予約管理キュー4の最後にキューイングされると共に、利用者には“システムが混んでいるため利用できません。セッション開設要求は、予約されましたので利用可能になった場合、連絡致します。”の旨のメッセージが送出される。尚、キューイングする際に、空セッションが生じた場合に連絡するためのユーザID、メッセージ通知先の電話番号、端末名などを関連づけて保持しておく。

その後、ユーザ数管理表5を参照して空セッションが生じたことが判明した場合、セッション予約プログラム3は、セッション予約管理キュー4のうち一番古いセッション開設要求の端末1に対して、この空セッションを確保した後、利用者に対して例えば音声サービスプログラム6によって音声で“セッションが確保できました”旨のメッセージを連絡する(図中④)。利用者は、音声サービスによってセッション確保の連絡を受けたことに対応して、再度、端末1からセッション開設コマンドをホストシステム2に通知する。ホストシステム2は、セッション開設コマンドが確保された予約セッション

8

が生じた場合にこの旨の連絡をしてセッションを開設する構成を採用しているため、利用者に対するサービスの均等性を保証することができると共に、繰り返しセッション開設コマンドを送出する手間を解消することができる。

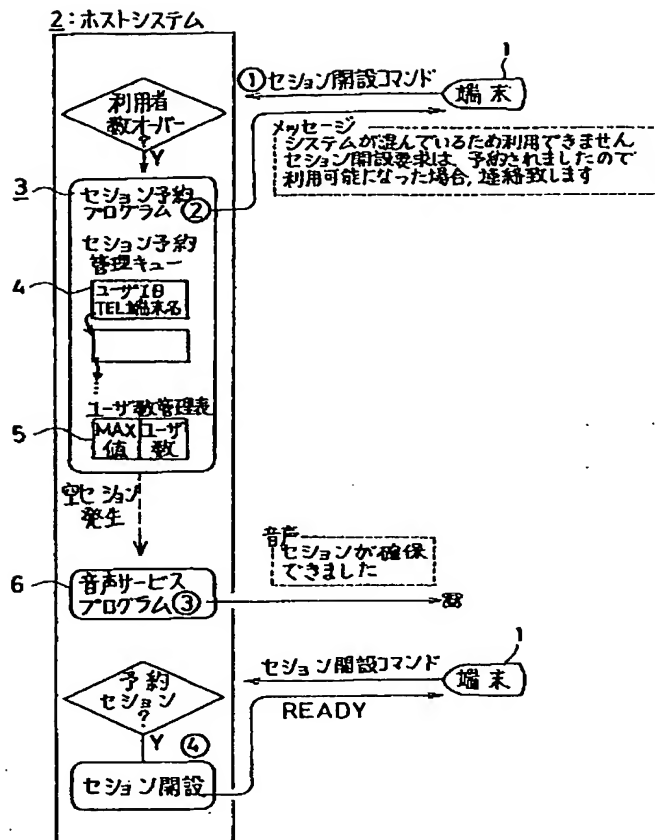
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例構成図、第2図は従来のセッション開設方式を示す。

図中、1は端末、2はホストシステム、3はセッション予約プログラム、4はセッション予約管理キュー、5はユーザ数管理表を表す。

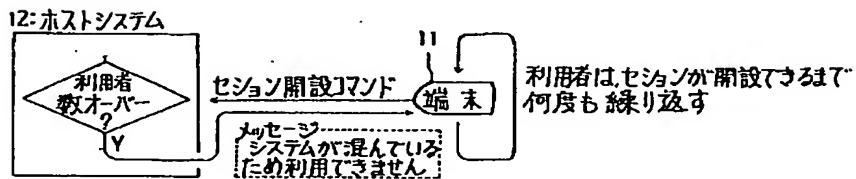
代理人弁理士 井祐





本発明の1実施例構成図

第 1 図



従来のセッション開設方式

第 2 図